

インスリンの絶対的・相対的適応

いいえ

はい

インスリン治療

目標 HbA1c 値の決定

「熊本宣言 2013」・「高齢者糖尿病の血糖コントロール目標 (HbA1c 値) を参照

Step 1

病態に応じた薬剤選択

非肥満

インスリン分泌不全を想定



DPP-4 阻害薬、
ビグアナイド薬、
α- グルコシダーゼ阻害薬 *、
グリニド薬 *、
SU 薬、
SGLT2 阻害薬 **、
GLP-1 受容体作動薬 **、
イメグリミン

*: 食後高血糖改善

** : やせの患者では体重減少に注意

**インスリン分泌不全、抵抗性は、
糖尿病治療ガイドにある
各指標を参考に評価し得る**

肥満

インスリン抵抗性を想定



ビグアナイド薬、
SGLT2 阻害薬、
GLP-1 受容体作動薬、
DPP-4 阻害薬、
チアゾリジン薬、
α- グルコシダーゼ阻害薬 *、
イメグリミン、
チルゼパチド

インスリン抵抗性は BMI、腹囲での肥満・
内臓脂肪蓄積から類推するが、
HOMA-IR 等の指標の評価が望ましい

日本における肥満の定義

: BMI 25 kg / m² 以上

日本における内臓脂肪蓄積を示す腹囲の基準

: 男性 85cm 以上 女性 90cm 以上